

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和 5 年度学校評価 計画

| 達成度（評価） | |
|---------|-------------|
| A | 十分達成できている |
| B | おおむね達成できている |
| C | やや不十分である |
| D | 不十分である |

| | |
|------------------|---|
| 学校名 | 鳥栖市立旭小学校 |
| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携による学力向上推進地域指定事業では、校内研究体制を整理し、特別活動・教科「日本語」・外国語活動を柱にして実践を積み重ね、他校の先生方に公開することができた。今後もその効果を検証しつつ教育活動の質の向上を図り、地域と連携し学習効果の最大化を目指す。 ・特別支援学級は1学級減になるが、支援級在籍の児童は90名の予定である。支援が必要な子ども一人一人のニーズに応じた教育を行うため、特別支援教育の更なる充実を図る。 ・働き方改革は、職員一人一人の意識の向上と業務のやり方の工夫を引き続き進めていきたい。 ・今年度からコミュニティ・スクールを取り入れた。学校行事の精選と地域連携による再編により、地域や社会に貢献できる学校を目指す。 |
| 2 学校教育目標 | 旭を愛し、やさしく・かしこく・たくましく生きる児童の育成 |
| 3 本年度の重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> ①分かりやすい授業の実践による児童の学力向上 ②特別支援教育についての専門性の向上と実践 |

| 4 重点取組内容・成果指標 | 中間評価 | 5 最終評価 | |
|---------------|------|--------|--|
|---------------|------|--------|--|

| (1) 共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
|--------------------|--|---|---|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|-------------------------------|
| 評価項目 | 重点取組 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ●学力向上対策評価シートに示した成果指標を達成した教師80%以上 | ・学年間で共通実践を共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 | | | | | | | |
| | ○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践 | ○「授業づくりのステップ1・2・3」のチェックシートを活用し、授業力が向上したと感じる教師85%以上 | ・校内研究の教科である算数科を中心に授業改善に取り組む。 | | | | | | | 学力向上対策コーディネーター 研究主任 学び部 |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○学校アンケートで「友達に優しくしたり、友達と仲良くしたりすることができる。」に肯定的な回答をする児童85%以上。 | ・人権意識を高める人権集会やアンケートの実施 ・特別の教科道徳の授業公開 | | | | | | | 道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 | ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教師85%以上 | ・「いじめ・いのちを考える日」に合わせて、毎月アンケートを実施 ・研修会の実施 | | | | | | | 生徒指導 各学年主任 教頭 |
| | ●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。 | ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上 | ・「ほめるからはじめる。はじまる。」を言葉に、児童のよさに目を向け、ほめる。 ・児童の善い行いを全校で紹介する。(校内掲示「心のつみ木」、HP) | | | | | | | |
| ●健康・体づくり | ②「望ましい生活習慣の形成」 | ②「体の成長を考えて、よりよい運動・食事・睡眠を意識して取り組んでいる」と回答した児童80%以上 | ・運動・食事・睡眠に関する意識調査の実施 ・望ましい生活習慣について興味・関心を高める取組を各委員会(体育、給食、保健)で行う。 | | | | | | | 保健主事 栄養教諭 健康部 各委員会担当 |
| | ④「安全に関する資質・能力の育成」 | ④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする | ・交通安全教室の実施 ・課題を設定し、児童の交通安全への意識向上を目指す。 | | | | | | | 安全教育担当 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 | ・働き方改革についてのアイデアを募ったり、研修会を行ったりすることで、教職員の意識改革を図る。 | | | | | | | 教頭 主幹教諭 |

| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
|-----------------------|-------------------|--|--|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|----------------|
| 評価項目 | 重点取組 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ★小中一貫教育の充実 | ★教科「日本語」の実践充実 | ★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上 | ・「鳥栖市教育の日」や参観日に教科「日本語」の授業を全クラス公開する。 ・各種通信を活用して、取組を紹介する。 | | | | | | | |
| ○特別支援教育の充実 | ○インクルーシブ教育の実践充実 | ○特別支援教育に関する専門性が向上したと感じる教師60%以上 | ・特別支援教育に関する研修会の実施 | | | | | | | 特別支援教育コーディネーター |
| ○地域社会との協働・連携 | ○コミュニティ・スクールの実践充実 | ○教育活動において地域人材を活用し、教育活動が充実したと感じる教師60%以上 | ・地域人材を活用した教育活動に取り組む。 | | | | | | | 主幹教諭 指導教諭 |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

| | |
|--------------------|--|
| 5 総合評価・ 次年度への展望 | |
|--------------------|--|